

フレッシュマン・オカザキのインド通信

カルナタカ州の輸出原石、一律値上げ！？

お世話になっております。

まずは衝撃的なニュースから・・・

カルナタカ州の輸出原石、一律20%の値上げ！？？

お盆休みが明けて早々、インドから嫌なニュースが飛び込んできました。州政府の意向により今後カルナタカ州で産出し輸出される原石の税率の20%引き上げ、且つ即施行という旨の通達がでたとのニュースが飛び込んできました。突然の通達、しかも即施行なんて・・・。そして、その理由は政府の資金調達の為。お金欲しさ故に輸出原石が目をつけられてしまったのです・・・。当然、当社の協力会社を含む現地の石材協会は異議を唱え、弁護士を雇い反抗するとの事でした。1～2ヶ月ほどで決着し、20%以下には抑えられるのではないかとの話ですが・・・

カルナタカ州には多くのメジャーな丁場があります。本当に値上げということになると、アーバングレー、カリーナブルー、ロイヤルブラウン、カラハリ、銀河系、MUなど、これら全ての石種で原石価格が影響を受けるということになります。原石を購入している中国工場や原石・製品を取り扱う日本の商社への影響も避けられないでしょう。まだ中国では原石在庫を抱えている工場も多いので、製品単価がすぐに値上げされる事はないと思いますが、遅かれ早かれ値上げせざるを得なくなるでしょう・・・。

この件については情報が入り次第、追ってご報告致します

暗いニュースばかりが流れている中、更に追い討ちをかけるようなこのニュース、注意深く状況を把握し、臨機応変な「対策」が求められそうです。

その対策の一つとして、スラフ材にして出荷するという方法があります。2面切りの半製品にするとその分工場までの運賃や切削費用などが余計にかかってしまいますが、分類として原石にはなりませんので増税を回避することが出来ます。2面切られているのでアロワンスはほとんど取ることが出来ませんが、**キズなどの問題が見やすくなり、出荷前にリスクを軽減する事が出来ます。**

この対策をアーバングレーの現状良材が出ている丁場が提案しております。

是非ご検討下さい！



↑中国工場での写真ですが、スラフ材にするとおおよその問題を省くことが出来ます。しかし、上記の対策は原石の購入に関して有効ですが、残念ながら中国工場の製品単価の値上げを抑える事は不可能です。。

そこで、弊社が自信を持ってお勧めする「対策」がこちら…！

そう、インド加工です！

上記の値上げは、輸出原石に限った事であり、インド国内の原石売買には影響ありません。インド工場は値上げをする必要がないので、今まで通りの製品単価を維持することが出来ます。インド発注のご経験が無い方、クナムしか発注したことがない方も多いと思いますが、当社ではアーバングレー、ロイヤルフラウンなども取り扱っております。現状は中国製品の単価と大差ありませんが、中国値上げの際には、是非インド加工を一度ご検討ください！必要あらば私オカザキが説明に伺います！

8月末から9月初めのこの時期、インドの人々を狂わせるお祭りがあります…。

ヒンドゥー教の神々の中でも1、2を争う人気を誇る、ガネーシュ神の生誕祭、ガネーシュ・フェスティバルです！

ガネーシュ・フェスティバルは、インドのマハラシュトラ州を中心に、8月末または9月始めの「ガネーシュ・チャトゥルティ」の日(新月の日から4日目)から満月までの計11日間行われます。

一番大がかりで有名なマハラシュトラ州プネー市では、一年を通じて行われる祭りのなかでヒンドゥー教の新年を祝う光のフェスティバル、ティーワーリーと 並ぶ大きな祭りとなっています。

ガネーシュは英知を司る神です。商売繁盛のモチーフにもされており、各地域の商店などが主に出資をします。

また、お金の無い小さな村では、高速道路の料金所で停まる車に寄付を募ります。今回の出張中で何度も強制的に車を止められました。。。(笑)

そしてなんとと言っても特徴的なのが、**夜になると大音響で音楽がかけられる事。**

この音楽はだいたいインド特有の音楽ですが、トランス・ミュージックなどと似ていて重低音が鈍く響きます。なんて近所迷惑な…。

そして昼夜問わず、地域の男性により大小の太鼓を中心にした音楽隊が構成され、やはり大音響で太鼓を叩きながら踊り歩きます。フェスティバルの初日にはガネーシュの像を近くの大きな寺院につれて行きます。ガネーシュの像は飾り付けをした山車の上に、王様の様ないでたちで座り、大きな太鼓を中心とした音楽隊が先導するなか、地域を練り歩きながら自分の寺院に戻ります。先導隊は大音響の爆竹を大量に炸裂させながらガネーシュの先を浄化します。



↑真夜中の寺院とガネーシュ像の行進。

車で移動していた際に休憩で停まったところにあった寺院でしたが、信じられないほどの大音量で音楽がかけられていました。。。

マハラシュトラ州では、最終日にはガネーシュの像は川に持って行かれ、人々から取り除いた障害と共に川に流されます。また、この時は再びガネーシュは飾り付けられた山車の上に座り、地域を練り歩き、人々はその前で踊り狂い、太鼓隊は最高の音で辺りを太鼓の音でいっぱいにします。なお、大きなガネーシュの像が川に流される事はなく、この場合、一緒に飾られていた小さな像や、大きな像に付けられていた飾り付けが外されて、川に流されるようです。

万国共通、お祭りに対する思い入れはどの国においてもすごいものがあります。

ガネーシュ・フェスティバルはインドの人々の神々やお祭りに対する愛情が最も現れている行事なのではないかと思います。

ではまた来月お会いしましょう。最後まで読んで頂きありがとうございました

2016/09/01 オカザキ